

その時 感動が 生まれた

能登演劇堂アルバム

Album of NOTO ENGEKIDO

平成7年に能登演劇堂がオープンしてから19年。毎年無名塾公演は能登演劇堂からスタートします。シエイクスピア、イブセン、ゴリキー、アーサー・ミラー、山本周五郎…。幾多の劇世界で観客を魅了してきた無名塾。能登演劇堂は無名塾の上演作品とともに歩んできました。

平成7年 「ソルネス」
能登演劇堂創設30周年記念公演として上演された「不可能なこ」と…それは何故か人間を魅了する…。終幕ホリゾンが開き町民工キストラが松明を持って登場。

●公演日:5/12.13 ●入場者数:1,211人(2回公演)
●演出:隆巴、出演:仲代達矢、若村麻由美、大西多摩恵、内田勝康、鈴木弥生、赤羽秀之ほか無名塾

平成8年 「リチャード三世」
隆巴追悼公演「リチャード三世」はイギリス史上有名なバラ戦争を題材に得たシエイクスピアの歴史劇。

●公演日:10/10~14 ●入場者数:2,971人(5回公演)
●演出:隆巴、林清人、出演:仲代達矢、入鹿尊、湯沢紀保、大川ひろし、野崎海太郎、菅原あきほか無名塾

平成9年 「いのちぼうにふろう物語」
初めてのロングラン公演「小さな町」の大きな挑戦…と話題になり、能登演劇堂の名が一気に全国に広がった。クライマックスの大捕り物シーンでは地元青年団員がエキストラで演じ、感動を呼んだ。

●公演日:10/9~11/10 ●入場者数:19,541人(30回公演)
●演出:林清人、出演:仲代達矢、山本清、山本圭、長森雅人、渡辺梓、赤羽秀之ほか無名塾

平成10年 「愛は謎の変奏曲」
松竹制作の仲代達矢、風間杜夫の2人芝居。フランスでアラン・トロンが演じた話題作が日本初演。

●公演日:10/1~5 ●入場者数:3,700人(6回公演)
●演出:宮田慶子、出演:仲代達矢、風間杜夫

平成10年 「わが町」
「ああ、地上よ…あなたはあまりにも美しくすぎて、誰もそれに気がつかないんだわ」無名塾秘演として上演された。

●公演日:11/26~29 ●入場者数:2,759人(4回公演)
●演出:林清人、出演:野崎海太郎、小宮久美子、高川裕也、西山知佐、菅原あき、松崎謙二ほか無名塾

平成11年 「どん底」
「真実って…いつてえ何たい人間…これが真実よ！」仲代達矢4回目の「どん底」サターン役。

●公演日:10/7~16 ●入場者数:6,265人(10回公演)
●演出:林清人、出演:仲代達矢、山本清、山本圭、野崎海太郎、小宮久美子、長森雅人ほか無名塾

平成12年 「セールスマンの死」
家族の愛とは。仕事とは。人生の夢とは。人生は何のために生き、そして死ぬのか。アーサー・ミラーの傑作。

●公演日:9/2.3.10/25~11/3 ●入場者数:6,470人(12回公演)
●演出:林清人、出演:仲代達矢、小宮久美子、高川裕也、金子和、佐藤一晃ほか無名塾

平成13年 「ウィンザーの陽気な女房たち」
無名塾としては20年ぶりの喜劇。仲代氏に勝り2Mの好色漢フォルスタッフを演じ、笑い巻き起こした。中島高校演劇コースの生徒たちが妖精役でエキストラ出演。初めて本物の馬も出演した。

●公演日:10/17~11/11 ●入場者数:14,739人(23回公演)
●演出:林清人、出演:仲代達矢、山本圭、小宮久美子、松崎謙二、鈴木弥生、中原果南ほか無名塾

平成14年 「セールスマンの死」
万雷の喝采に込めての再演。仲代達矢演じるウィリアム・サリヴァンの息遣い、ピフとハッピーに進藤健太郎と佐藤一晃が起用された。

●公演日:9/21.22 ●入場者数:1,330人(2回公演)
●演出:林清人、出演:仲代達矢、小宮久美子、進藤健太郎、佐藤一晃、赤羽秀之、西山知佐ほか無名塾

平成15年 「森は生きている」
仲代父娘共演で話題となった大人のためのミュージカル。妹尾河童氏が担当した舞台美術は照明を使い一瞬にして季節を変えるという仕掛けが見事であった。

●公演日:9/19~24 ●入場者数:4,295人(6回公演)
●演出:仲代達矢、出演:仲代達矢、仲代奈緒、山本圭、山本雅子、佐山陽規ほか無名塾

平成16年 「いのちぼうにふろう物語」
新「七尾市」誕生祝賀公演として25回上演。再び能登演劇堂に安楽亭が登場し、御用提灯を手にした市民工キストラが野外ステージを駆け回った。

●公演日:9/23~10/20 ●入場者数:14,395人(25回公演)
●演出:林清人、出演:仲代達矢、山本圭、桂木ゆき、篠山美咲ほか無名塾

平成17年 「ドライビング・ミステイジ」
劇団民藝+無名塾公演。カーレースで活躍するホルンントが開き奈良岡朋子と仲代達矢が真赤なオープンカーで舞台上で登場し、話題となった。

●公演日:9/3~10 ●入場者数:4,074人(8回公演)
●演出:丹野郁弓、出演:仲代達矢、奈良岡朋子、千葉茂則、長森雅人

平成18年 「長州異聞」
無名塾の脚本家岡山矢氏が書き下ろした作品。時代は明治21年。今から120年以上前の日本を、国家として形作った実在の人たちの話。舞台天道具は能登で製作。

●公演日:9/6~10 ●入場者数:3,039人(6回公演)
●演出:林清人、出演:隆大介、長森雅人、松崎謙二、赤羽秀之、中山研、本郷弦ほか無名塾

平成19年 「ドン・キホーテ」
仲代ドン・キホーテと山谷サンチョ・パンサの冒険の旅物語。男のロマンに胸をときめかせた男性も多かったはず。

●公演日:9/28~10/11 ●入場者数:7,093人(13回公演)
●演出:丹野郁弓、出演:仲代達矢、山谷初男、野崎海太郎、友居彦彦ほか無名塾

平成20年 「長州異聞」
平成18年の公演が好評であったため再演となった。主役の白井小助を無名塾1期生の隆大介が演じた。

●公演日:6/26 ●入場者数:387人(1回公演)
●演出:林清人、出演:隆大介、長森雅人、赤羽秀之、中山研、本郷弦ほか無名塾

平成21年 「マクベス」
能登限定ロングラン公演として50回上演。日本全国から3万人が観劇に訪れた。6頭の馬と50人の市民工キストラという豪華舞台に3万人の観客が酔いしれた。

●公演日:9/18~11/15 ●入場者数:32,912人(50回公演)
●演出:林清人、出演:仲代達矢、若村麻由美、山谷初男、松崎謙二、平井真軌ほか無名塾

平成22年 「ジョン・ガブリエルと呼ばれた男」
裸貫でたまたま、わがままに一生自分の夢を追い続けた男の物語。イブセンの最高傑作を4人の豪華キャストが演じた。

●公演日:1/29~31 ●入場者数:1,355人(3回公演)
●演出:栗山民也、出演:仲代達矢、大空真弓、米倉奇加年、十朱幸代

平成22年 「炎の人」
ひまわりの画家として知られる天才画家ゴッホの激しく炎のような生涯を書いた三好十郎の作品。ゴッホを仲代達矢が演じた。

●公演日:10/2~12 ●入場者数:6,158人(11回公演)
●演出:鶴山仁、出演:仲代達矢、岡本舞、西山知佐、菅原あき、松崎謙二、赤羽秀之ほか無名塾

平成23年 「友達」
ひとり暮らしの男の部屋にある晩餐、9人家族が大挙して押しかけ、その部屋を占拠してしまう。安倍公房の不条理劇。

●公演日:9/30~10/2 ●入場者数:1,315人(3回公演)
●演出:樋口泰子、出演:小宮久美子、松崎謙二、中山研、森岡弘一郎、山本雅子、本郷弦ほか無名塾

平成24年 「ホブソンのチョイス」
舞台は19世紀のイギリス。靴屋の主ホブソンは大酒飲みの頑固おやじ。彼に立ち向かう結核した3人の娘。笑いひと人情の傑作ホムコソープ。

●公演日:3/7~11 ●入場者数:2,658人(3回公演)
●演出:丹野郁弓、出演:仲代達矢、岡本舞、松崎謙二、渡辺梓、中山研、森岡弘一郎ほか無名塾

平成24年 「無明長夜」
「善悪なんて、神さまのあずかり知らないことですよ。悪か善かは、みんな人々との間わりでうまれるんですよ。」の「松永尚三」連下辰男。無名塾、異説四谷怪談。

●公演日:10/19~21 ●入場者数:1,191人(3回公演)
●演出:鐘下辰男、出演:岡本舞、長森雅人、松崎謙二、渡辺梓、中山研、森岡弘一郎ほか

平成25年 「授業」
初老の教授のもとに、若い女生徒が個人授業を受けるために訪れるが…。パリの小劇場で17,000回も上演されて1の不条理劇の傑作。

●公演日:1/25~27 ●入場者数/1,093人(3回公演)
●演出:林清人、出演:仲代達矢、山本雅子、西山知佐

**そして、2013年秋
新しいドラマの幕が上がる。**
To be continued...